

1 地域の誘致戦略

新たな担い手の育成・確保や、荒廃農地の再生利用を推進します。

2 受入候補地域・農地の概要

地域名	磐田市内全域
地域の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏にも近く、市の中央部を東名高速道路、国道1号、北部に新東名高速道路、南部に国道150号及び150号バイパスが通り、東西方向の交通体系に恵まれています。 ・更に、東名高速道路には、磐田ICと遠州豊田スマートIC、新東名高速道路には新磐田スマートICが開通しており、利便性に優れています。 ・年間平均気温16.7℃（気象庁データ：令和4年）と温暖な気候に恵まれ、北部山間地の茶・柿などから、南部平坦地の大規模水田営農、施設園芸、露地野菜など多種多様な作物が栽培されています。
農地の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランの実質化の中で実施したアンケート調査に回答した75以上の農業者のうち、8割が後継者不在と回答しています。
農地所有者との調整	<ul style="list-style-type: none"> ・一部地域でアンケート調査を実施し、貸付希望と回答した農地所有者にはヒアリングを実施しています。
ほ場環境	<ul style="list-style-type: none"> ・天竜川左岸に開けた平坦地では、水田・畑が広がり、水稻・露地野菜を中心とした農業生産が行われ、ほ場整備及びかんがい排水を中心とした土地改良事業により、水利や農道及び用排水路の整備が図られています。 ・北部丘陵地、磐田原台地では、農業生産基盤の整備がなされ、茶を中心とした樹園地となっています。 ・今後は、整備された農業基盤施設を適切に維持・更新するとともに、ほ場の大区画化や汎用化、畑地かんがい施設、暗渠排水など農業生産基盤の整備を進め、より一層農作業の省力化と経営の合理化を図っていきます。
関連施設	

3 農業法人に求める条件

法人の探索順位 (優先順位)	市内、近隣地域、県内、県外の順で農業法人を誘致します。
作目・品目	作目・品目は問いません。
耕作面積	面積は問いません。
その他特記事項	耕作条件の悪い農地を活用できる農業法人を誘致します。